

11 速読

「説苑」

名前

年 組 番

字数

61 字

目安時間

5 分

正答数

2

検印

◆ 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

伯^{*} 兪^リ 有^レ 過^チ、其^ノ 母^ヲ 答^レ 之^ヲ。泣^ク。其^ノ 母^ハ 曰^{ハク}、「他^{これ}

日^{まで} 答^{ウツニ} 子^ヲ、未^二 嘗^テ 見^ラ 泣^{クラ}。今^{クハ} 泣^ハ 何^ゾ 也^ト。」対^{ヘテ} 曰^{ハク}、

「他^{いつも} 日^ニ 兪^ニ 得^テ 罪^ヲ 答^{ウタルニ} 嘗^ニ 痛^シ。今^ニ 母^ノ 之^ノ 力^ハ 衰^ヘ

不^ハ 能^{ムル} 使^{カラ} 痛^②、是^ヲ 以^テ 泣^ク 也^ト。」

痛みを感じさせることができない

語注

* 伯兪：漢代の人。

* 答：人や動物を細長い木や竹の棒で打つ。

問1 傍線部①の解釈として最も適当なものを次から選べ。

- ア 今までも何度も答で打たれることはあったが、今それほど泣くのならばやめよう。
 イ これまで答で打たれて泣いたことはなかったのに、今泣くのはなぜなのか。
 ウ 今まで答で打たれて泣いたことがないので、どのように泣けばいいのかわからない。
 エ まだ答で打たれて泣いたことがないので、一度泣いてみたいと思うがどうしたらよいか。

問2 傍線部②とあるが、伯兪が泣いたのはなぜか。その理由を説明したものとして最も適当なものを次から選べ。

- ア 年月を経て、自分を思つて答を打つ母親の気持ちがわかるようになってきたから。
 イ 今までは答の痛みを感じなかったが、自分が弱ったことで感じるようになったから。
 ウ いつの間にか答で打たれることに慣れ、痛みを感じないことに情けなくなったから。
 エ 今までと違い今回は答の痛みを感じず、母親の力が衰えたことに気づいたから。



11
復習

「説苑」

名前

年

組

番

正答数

10

検印

句形Q

傍線部Ⅰ～Ⅲについて、それぞれ書き下し文を本文横の□に記せ。

省略Q

点線部の左横の□に省略された語句を記せ。（本文中の語句で答えること。）

伯 兪 有^リ 過^ア、其^ノ 母 答^ムレ^{ウツニ} 之^ヲ 泣^ク。其^ノ 母 曰^{ハク}、「他

1

書き下し文

日 答^{ウツニ}レ^子、未^ニ 嘗^テ 見^レ

泣^{クラ}。今 泣^ク 何^ゾ 也^ト。」対^{ヘテ} 曰^{ハク}、

書き下し文

「。」

主語

が

主語

は

「他 日 兪 得^テ 罪 答^{ウタルルニ} 嘗^ニ 痛^シ。今 母 之 力 衰^ヘ

書き下し文

不^レ 能^ハ 使^{ムル} 痛^{カラ}、是^ヲ 以^テ

泣^ク 也^ト。」

主語

は

語句Q

波線部①の読みを、送り仮名も含めて平仮名で答えよ。（現代仮名遣いで答えること。）あわせて、本文中での意味を答えよ。

- ①読み ②読み
「 」 「 」
「 」 「 」
「 」 「 」
「 」 「 」

☑その他の覚えておきたい語・句形

子…相手に対する尊称。

未^ダ 読^ミ A (セ) ず 読^ミ まだ A しない何^ソ 也 読^ミ なんゾや 読^ミ どうしてか嘗^ニ 読^ミ つねニ 読^ミ いつも不^レ 能^ハ 読^ミ A スル 読^ミ A スル あたはず 読^ミ A することができない